

食の安全を科学する「サイエンスカフェ」第2話 概要

1. 開催概要

■主催 食品安全委員会、群馬県

■会場 ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)

■開催期間・時間 平成21年3月4日(水) 18:30~20:00 ※予定終了時刻を10分程超過

■来場者数 37名(一般の方 36名、新聞記者1名)

■テーマ すべての物質は毒であり、薬である？

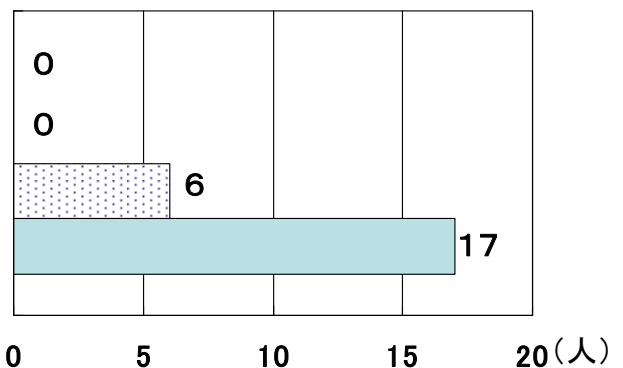
コーディネーター: 田柳恵美子(公立はこだて未来大学特任准教授)

スピーカー: 小泉委員

2. 来場者アンケート結果(単純集計のみ 回答数:23)

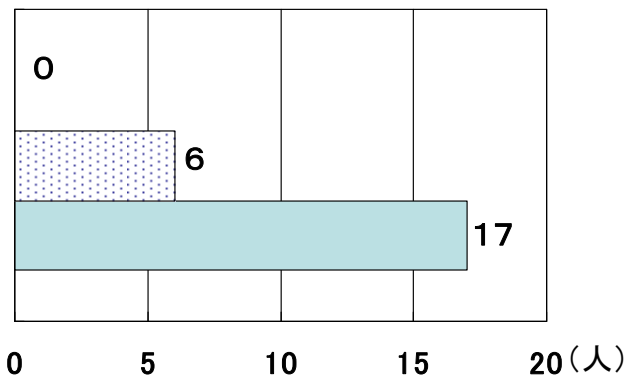
問1. 本日のサイエンスカフェは
楽しんでいただけましたか？

楽しくなかった
あまり楽し
なかった
まあ楽しかった
楽しかった



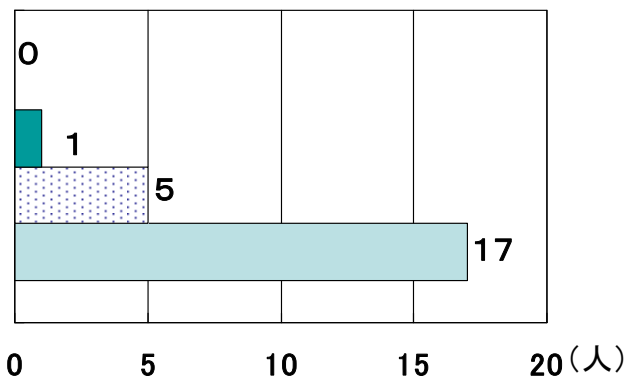
問2. 全体の時間はどうでしたか？

もう
少し短くても
いいと思う
もう少し長くても
いいと思う
ちょうど良い長さだった



問3. スピーカーの話は
わかりやすかったですか？

わからなかった
あまりわかり
やすくなかった
まあわかりやすかった
わかりやすかった



3. コミュニケーションカード(質問用紙)の例

- ADIはNOAELの1/10×1/10ということですが、どうして1/10なのですか？人は他の動物に比べて10倍繊細なのですか？
- ADIの実験動物は何が使われるのですか？
- 無毒なものが二つなり三つ重なって摂取すると有毒になるという例はありますか？
- 野菜や果物なのに含まれる天然の毒性物質や発ガン物質の安全性の評価や摂取量の目安はどのように試験されているのでしょうか？
- リスクとベネフィットを比較させながら(リスクとメリットをどうとるかを消費者に考えさせる)広報はできないか？

4. 会場の様子



「コミュニケーションカード」(質問用紙)を参加者に渡し、係が集めて廻り、ボードに掲出。

コーディネーター、スピーカー、参加者の皆さんが近い距離で、話し合います。

